

9. 騒音・振動関係データ

■概要

大阪府では、環境騒音（一般地域及び道路に面する地域）、航空機騒音、新幹線鉄道騒音、在来線鉄軌道騒音（新幹線鉄道を除く。）、建設作業騒音、小規模飛行場騒音、振動及び低周波音について生活環境保全目標（巻末資料参照）を定めており、目標を達成するため各種施策を講じることとしています。令和4年度に講じた主な施策及び生活環境保全目標の達成状況は次のとおりです。

（1）環境騒音（道路に面する地域）

道路面の改良などの道路構造対策及びに交通規制などの交通流対策等を実施しました。

（9-7、9-8）

生活環境保全目標の達成率（令和3年度）は、93.7%でした。

（9-1）

（2）環境騒音（一般地域）

工場・事業場、建設作業及びカラオケ騒音について騒音規制法、振動規制法及び府生活環境の保全等に関する条例に基づいて規制・指導を行う市町村に対し、助言・技術的支援を行いました。

生活環境保全目標の達成率（令和3年度）は、92.4%でした。

（9-2）

（3）航空機騒音

大阪国際空港周辺及び関西国際空港周辺において航空機騒音の実態把握を行いました。

生活環境保全目標の達成状況（令和4年度）は、大阪国際空港周辺においては通年測定局を設置している5地点中4地点及び短期測定を行った11地点中3地点において達成しませんでした。一方、関西国際空港周辺においては短期測定を行った2地点のすべてで達成しました。

（9-3、9-4、9-5）

（4）新幹線鉄道騒音

関係市町と連携し、JRによる騒音振動対策を促進するとともに新幹線騒音の実態把握を行いました。（9-9）

生活環境保全目標の達成率（令和4年度）は、測定を行った17地点中9地点で達成し52.9%でした。（9-6）

（5）在来線鉄軌道騒音振動

府内で運行する鉄道事業者の対策実施状況を把握しました。（9-10）

9-1 環境騒音（道路に面する地域）の生活環境保全目標達成状況

（令和3年度）

（上段：％
下段：戸数）

地域の類型	評価戸数	昼・夜間とも 目標値以下	昼間のみ 目標値以下	夜間のみ 目標値以下	昼・夜間とも に目標値超過
幹線交通を担う道路に 近接する空間	399,801	90.6 362,270	3.2 12,991	0.4 1,749	5.7 22,791
非近接空間	550,305	96.0 528,068	1.0 5,721	0.4 2,159	2.6 14,357
全地域	950,106	93.7 890,338	2.0 18,712	0.4 3,908	3.9 37,148

- 注) 1 非近接空間: 幹線交通を担う道路に近接する空間の背後地や、幹線交通を担う道路以外の道路に面する地域
 2 昼間: 午前6時～午後10時 夜間: 午後10時～翌日の午前6時
 3 %値は総数に対する割合で、項目ごとに四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。

9-2 環境騒音（一般地域）の生活環境保全目標達成状況

（令和3年度）

上段：％
下段：地点数

地域の類型	地点数	昼・夜間とも 目標値以下	昼間のみ 目標値以下	夜間のみ 目標値以下	昼・夜間とも 目標値超過
AA：特に静穏を要する地域	0	- 0	- 0	- 0	- 0
A：専ら住居の用に供される地域 及び B：主として住居の用に供される地域	208	93.3 194	2.9 6	1.4 3	2.4 5
C：相当数の住居と併せて商業、 工業等の用に供される地域	96	90.6 87	8.3 8	1.0 1	0.0 0
全 地 域	304	92.4 281	4.6 14	1.3 4	1.6 5

- 注) 1 地域の類型については、巻末資料(生活環境保全目標)を参照
 2 昼間:午前6時～午後10時 夜間:午後10時～翌日の午前6時
 3 %値は総数に対する割合で、項目ごとに四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。

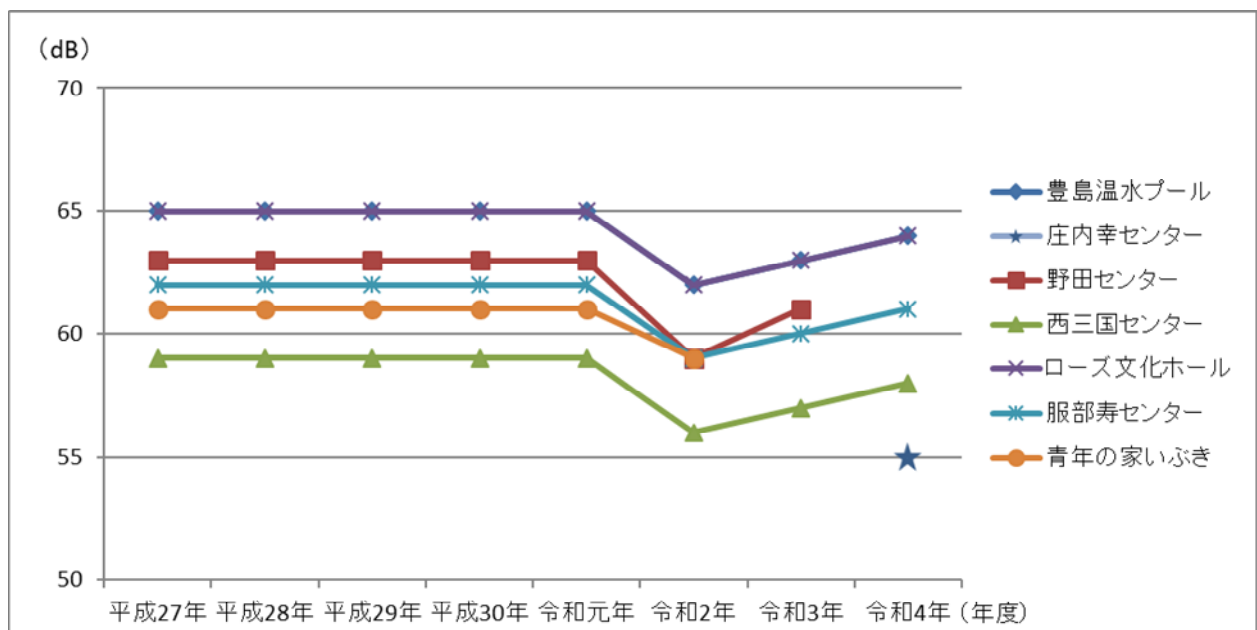
9-3 大阪国際空港周辺における航空機騒音の通年測定結果

(令和4年度)

No	調査機関	調査地点	住所	地域の類型	生活環境保全目標値 L_{den} (dB)	測定結果 L_{den} (dB)	生活環境保全目標の達成状況 (達成:○ 非達成:×)	調査期間
1	大阪府	豊島温水プール	豊中市服部西町 5-1-1	II	62	64	×	通年
2		庄内幸センター	豊中市庄内幸町 1-6-8	I	57	55	○	
3		西三国センター	大阪市淀川区十八条 3-1-65	I	57	58	×	
4	豊中市	ローズ文化ホール	豊中市野田町 4-1	I	57	64	×	
5		服部寿センター	豊中市服部寿町 2-19-9	I	57	61	×	
6		青年の家いぶき	豊中市服部西町 4-13-1	I	57	—	—	

- 注) 1 地域の類型については、巻末資料（生活環境保全目標）を参照
 I：専ら住居の用に供される地域
 II：I以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域
 2 L_{den} （時間帯補正等価騒音レベル）は、航空機騒音に係る環境基準（平成25年4月1日施行）に定められた評価指標であり、単位はデシベル。
 3 野田センターは令和4年4月20日に廃止し、庄内幸センターにおいて令和4年4月21日から測定を開始しています。
 4 西三国センターでは、屋上防水改修工事のため69日間欠測しており、算出した評価量の不確かさが増大（0.1dB程度）しています。
 5 青年の家いぶきでは、改修工事のため令和3年4月から令和5年2月末まで測定を中断しており、令和4年度は37日間のみでの測定のため、欠測としています。

(参考) L_{den} (単位:デシベル)の推移



9-4 大阪国際空港周辺における航空機騒音の短期測定結果

(令和4年度)

No	調査機関	調査地点	住所	地域の類型	生活環境 保全目標値 L_{den} (dB)	測定結果 L_{den} (dB)	生活環境 保全目標の 達成状況 (達成:○ 非達成:×)	調査期間
1	大阪府	勝部遺跡収蔵庫前	豊中市勝部2-7	Ⅱ	62	62	○	10/25- 10/27
2		池田市下水処理場	池田市ダイハツ町3	Ⅱ	62	62	○	
3	大阪市	都市整備局公共施設 充当地	大阪市淀川区西三国 2-12	Ⅰ	57	60	×	
4	豊中市	庄内東センター	豊中市庄内東町3-7-15	Ⅰ	57	63	×	10/26- 10/28
5	池田市	神田会館	池田市神田3-5-16	Ⅰ	57	58	×	
6	吹田市	江坂こぶな遊園	吹田市江坂町3-32	Ⅰ	57	43	○	10/25- 10/27
7		高川、神崎川合流 地点	吹田市芳野町	Ⅱ	62	58	○	

注) 1 地域の類型については、巻末資料(生活環境保全目標)を参照

Ⅰ:専ら住居の用に供される地域

Ⅱ:Ⅰ以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

2 L_{den} (時間帯補正等価騒音レベル)は、航空機騒音に係る環境基準(平成25年4月1日施行)に定められた評価指標であり、単位はデシベル。

9-5 関西国際空港周辺における航空機騒音の短期測定結果

(令和4年度)

No	調査機関	調査地点	地域の類型	生活環境 保全目標値 L_{den} (dB)	測定結果 L_{den} (dB)	生活環境保全目標 の達成状況 〔 達成:○ 非達成:× 〕	調査期間
1	大阪府	二色の浜公園 (貝塚市澤)	I	57	33	○	11/2-11/8
2		小島総合集会所 (岬町多奈川小島)	I	57	46	○	11/2-11/8

注) 1 地域の類型については、巻末資料(生活環境保全目標)を参照

I:専ら住居の用に供される地域

II:I以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

2 L_{den} (時間帯補正等価騒音レベル)は、航空機騒音に係る環境基準(平成25年4月1日施行)に定められた評価指標であり、単位はデシベル。

9-6 新幹線鉄道騒音の生活環境保全目標達成状況

(令和4年度)

地域の類型	I					II				
	合計	測定地点内訳				合計	測定地点内訳			
測定地点	17	12.5m	25m	50m	その他	0	12.5m	25m	50m	その他
			4	9	2		2	0	0	0
生活環境保全 目標達成地点	9	1	5	2	1	0	0	0	0	0
達成率 (%)	53	25	56	100	50	-	-	-	-	-

注) 1 地域の類型については、巻末資料(生活環境保全目標)を参照

I: 主として住居の用に供される地域

II: 商工業の用に供される地域等 I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

2 測定地点別内訳の数値は、測定点に近い軌道の中心から測定地点までの距離を示す。

9-7 道路における遮音壁の設置、低騒音舗装の実施状況

(令和4年度)

道路管理者	遮音壁 (m)				低騒音舗装 (m)	
	従来型		新型		新設・改良	再舗装
	新設	既存改良	新設	既存改良		
国	0	0	0	0	0	3330.0
西日本高速道路株	2650.0	0	0	0	3241.0	17704.0
阪神高速道路株	92.3	0	0	0	13906.3	705.0
府 (府道路公社含む)	0	0	0	0	0	2006.5
大阪市	0	0	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0	0	0

注) 「新型」遮音壁とは、先端の形状を工夫するなど、騒音低減効果が高いもの。

9-8 主要交通規制の実施状況

(令和4年度末現在)

規制種別	区間等	合 計	
		区間等	延 長 (km)
歩行者用道路 (自転車歩行者用道路を含む。)		4,021 (14)	730
大型等通行禁止		5,697 (21)	2,521
一方通行		12,023	2,651
駐(停)車禁止		12,981 (59)	7,404
一時停止		63,268	—
最高速度	40~80km/h	1,938	2,993
	20~30km/h	9,441 171	5,921
バス優先規制		59	100
自転車歩道通行可		1,904	1,995
追越しのための 右側部分はみ出し禁止		1,835	2,303

注) 1 () は、地域規制数を外数で示す。

2 バス優先規制とは、バス専用道路、バス専用通行帯及びバス優先通行帯をいう。

3 大型等通行禁止とは、大型自動車等通行止め、特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止めをいう。

9-9 新幹線鉄道騒音・振動対策の実施状況

(令和4年度末現在)

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置	直型	16.8 km (上下線の合計)
	干渉型	5.0 km (")
	嵩上	2.2 km (")
	吸音板※	23.3 km (")
バラストマットの敷設		42.6 km (")
弾性枕木の敷設		3.8 km (")
レールの重量化		59.4 km (")
鉄橋の防音工事		0箇所(全線)

※ 平成27年度から吸音板を設置した防音壁を別に記載

9-10 在来線鉄軌道騒音・振動対策の実施状況

(令和4年度末現在)

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置		303.3 km (上下線の合計)
ロングレールの敷設		1,083.9 km (")
弾性枕木の敷設		107.0 km (")
鉄橋の防音工事		52 箇所
無道床鉄橋の有道床化		426 箇所
レール表面の削正 (令和4年度実績)	一般部	165.323 km (延長距離)
	溶接部	2,134 箇所